



令和4年度 水道事業会計予算

概要

令和4年度の水道事業は、16万9,500戸へ年間3,850万 m^3 (1日平均10万5千 m^3)の水の供給を予定しています。また、耐用年数を経過した管路の更新等を行い、災害に強い水道施設を整備する予算として12億7千万円を計上しています。

主な事業 豊見城配水池の建替えについて

イメージ図



豊見城配水池は昭和49年3月に竣工し、建設後約48年が経過し経年による老朽化が進んでおり、配水池の耐震化を図るため建替工事を進めています。

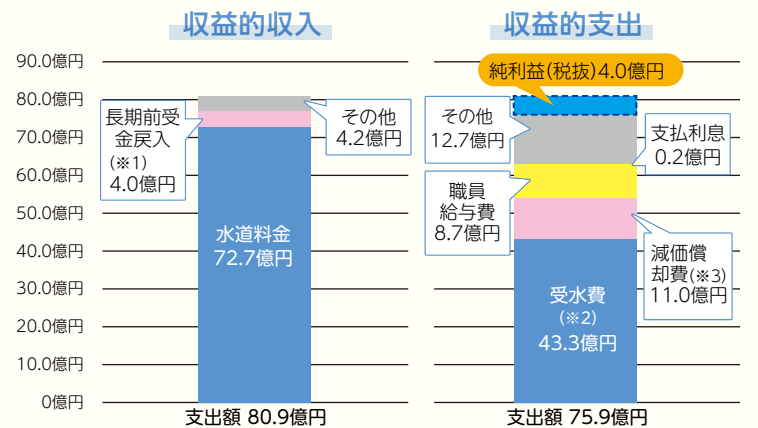
【構造形式】PC構造
(プレストレストコンクリート製 2基)
【容量】4,800 m^3 (2,100 m^3 、2,700 m^3)
【今年度工事概要】配水池本体建設工事
(1基目2,100 m^3)

収益的収支(税込) ※事業を運営するための財源と経費

水道事業は、利用者のみなさまからお支払いただいた水道料金で運営されています。

この水道料金は、浄水の購入費、水道施設の維持管理経費、職員給与費等の費用に使われています。また、減価償却費等の現金の支出を伴わない費用や純利益を施設整備費用の財源として留保しています。

主な収益	主な費用
水道料金 72.7億円	受水費(※2) 43.3億円
長期前受金戻入(※1) 4.0億円	減価償却費(※3) 11.0億円



【用語の説明】(※1)長期前受金戻入: 償却資産の取得・改良のために受けた補助金等の収益化分(非現金収入)
(※2)受水費: 沖縄県企業局から購入する浄水費 (※3)減価償却費: 施設の価値減少分

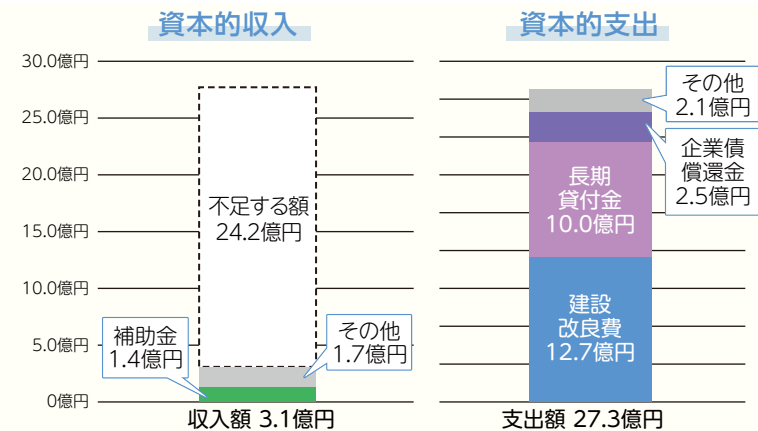
資本的収支(税込) ※施設を新設・更新するための財源と経費

水道施設を整備するために必要な経費及び企業債償還金と財源などを計上しています。

※不足する額24.2億円は、純利益や減価償却費等の非現金支出により積み立てられた内部留保資金で補てんされます。

主な建設改良工事

- 豊見城配水池建設工事
- 基幹管路の耐震化工事(西地内、安謝地内、首里石嶺町地内)



令和4年度 下水道事業会計予算

概要

令和4年度の下水道事業は、16万2千戸から排出される汚水3,522万 m^3 (1日平均9万6千 m^3)の処理を予定しています。また、下水道施設を整備する予算として14億円を計上しています。

主な事業 首里石嶺町地区雨水調整池設置工事について

イメージ図



首里石嶺町4丁目地区の浸水被害軽減を目的として、地下貯留式雨水調整池の設置工事を進めています。

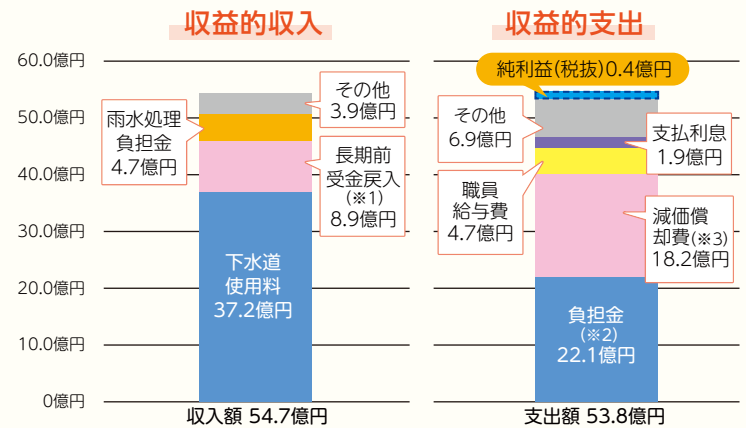
【構造形式】地下貯留方式
【容量】6,000 m^3
【今年度工事概要】仮設工事及び貯留施設 設置工事

収益的収支(税込) ※事業を運営するための財源と経費

汚水処理事業及び再生水利用下水道事業は、基本的に利用者のみなさまからお支払いただいた使用料等で運営されており、雨水処理事業は、一般会計からの負担金で運営されています。

これらの収入は、流域下水道維持管理負担金(※2)、下水道施設の維持管理経費、職員給与費等の費用に使われています。また、減価償却費等の現金の支出を伴わない費用や純利益を企業債償還金の財源として留保しています。

主な収益	主な費用
下水道料金 37.2億円	負担金(※2) 22.1億円
長期前受金戻入(※1) 8.9億円	減価償却費(※3) 18.2億円



【用語の説明】(※1)長期前受金戻入: 償却資産の取得・改良のために受けた補助金等の収益化分(非現金収入)
(※2)負担金: 沖縄県の下水道施設使用に伴う費用等(主に流域下水道維持管理負担金など)
(※3)減価償却費: 施設の価値減少分

資本的収支(税込) ※施設を新設・更新するための財源と経費

下水道施設を整備するために必要な経費及び企業債償還金と財源などを計上しています。

※不足する額8.9億円は、純利益や減価償却費等の非現金支出により積み立てられた内部留保資金で補てんされます。

主な建設改良工事

- (雨水) 浸水被害軽減対策(首里石嶺町4丁目)
- (雨水) 暗渠改修工事(宇栄原地内ハーゲラー川幹線)
- (汚水) 未整備地区解消事業(首里山川町3丁目)

